



鈴小だより

30年度12月

神戸市立鈴蘭台小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/szr-es/>

「感謝」

今年も残すところ、あと1か月となりました。「12月」・「年末」・「師走」という言葉から気持ちがせいてしまいがちですが、落ち着いて2学期の締めくくりができればと思っています。

11月21日・22日、6年生と修学旅行に行ってきました。奈良では東大寺の見学やその付近の社寺をグループで協力し合って見学していました。また法隆寺では、ガイドの方の説明にしっかり耳を傾けながら見学することができていました。湯の山温泉の湯の山グリーンホテルでは、一般のお客様も宿泊していることを念頭において行動することができていました。次の日の鈴鹿サーキットの遊園地「モートピア」では、グループで協力して楽しく乗り物に乗ったり食事をとったりすることができていました。6年生の子供たちが、しっかりと「神戸市立鈴蘭台小学校の顔」として行動してくれたことをとても誇りに思います。

さて、本校に私が赴任して早8か月が過ぎました。春には運動会、秋には自然学校や音楽会。そして前述の修学旅行、と大きな行事を無事終えることができました。どの行事も子供たちにとって達成感・満足感が味わえるものとなり、行事を終えるごとに子供たちが逞しく成長していったように感じています。これも、ひとえに保護者の皆様及び地域の皆様のあたたかいご支援・ご協力をいただいているおかげです。

3日(月)～5日(水)の3日間、学期末の個別懇談会が行われます。子供たちの日頃の学校での学習や生活の様子を聞いていただき、またご家庭での生活の様子などをお話ししていただければと思います。そして、子供たちの健やかな成長を保護者の皆様と学校とタッグを組んで見守っていければと考えております。どうぞよろしくお祈りします。

また、26日(水)から12日間の冬休みに入ります。この間にクリスマスやお正月など家族の集まる行事があります。そこで、お子様とたくさん会話をすることで親子のきずなを深めていただきたいと思います。またその時は、子供の話「聞く」ではなく「聴く」ことをしていただきたいと思います。(「聞く」…耳にする 「聴く」…耳で感じ取る 「角川実用国語辞典」より)

この年末年始、地域での行事も多いことでしょう。子供たちとともにいろいろな行事に参加されてみてはいかがでしょうか。地域とのつながりの大切さを共感することで、地域の良さを子供たち次世代に引き継いでいけるよう願っています。

校長 須田 啓一